Yamauchi Patent News

2023 年 新春号

VOL. 80

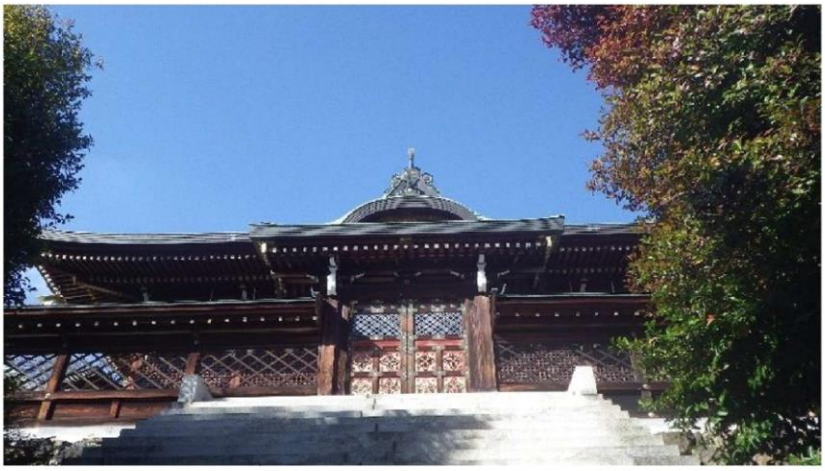
ニュースの目次

１．　あけましておめでとうございます
２．　今年の抱負
３．　今年度の Yamauchi Patent News の予告

１．あけましておめでとうございます

令和５年　元旦

謹んで新春のお慶びを申し上げます



古来より高松総鎮守として尊崇されている石清尾八幡宮

―真っ青な空を背景にした社殿に心が洗われます―

皆様のご健勝を祈念いたしますと共に
本年もよろしくお願いいたします

２．今年の抱負

☆今年の抱負（所長　山内　康伸）

四国遍路の世界遺産登録への気運が高まっています。一念発起して、四国遍路八十八ヶ所巡りをすることにし、併せて近くの山も登ってくることしました。手始めは、第一番札所　霊山寺（徳島県鳴門市）で、近くの大麻山（５３８ｍ）へ登り、２回目は第二番札所　極楽寺と第三番札所　金泉寺（いずれも鳴門市）にお参りし、高尾山（２６１ｍ）に登ってきました。巡礼と山歩きで身も心も満足で一杯です。皆様、今年もよろしくお願いいたします。

☆今年の抱負（副所長　山内　伸）

ここ数年、初詣に金毘羅の奥の院（厳魂神社）まで出かけています。一昨年から長男（６歳）と一緒に、今年は長女（４歳）も一緒に登りました。奥の院までの道のりは１３６８段の石段ですので、子供達にとっては大変なものです。それでも長女は弱音を吐きながらも自力で奥の院までたどり着けました。帰りはおんぶでしたので、おかげさまで三が日はずっとふくらはぎが筋肉痛でした。

今年は元日に鍛えられた足で兎の様に飛躍できる年にしたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

☆今年の抱負（赤松　善弘）

所長が四国遍路を開始しており、それに対抗するわけではありませんが、日本遺産に登録されました、１３００年の歴史を持つ日本最古の巡礼路である西国三十三所観音巡礼を行なっています。業務の面での自己研鑽もさることながら、巡礼を通じて心身面でも研鑽を積み重ねていきたく存じます。

☆今年の抱負（原　一敬）

今年は欧州で新しい制度が始まります。ご存じの方も多いと思いますが、今年は欧州で単一特許、統一特許裁判所の制度が開始します。

しかしこれらの制度については、英国が離脱したことによるデメリット、費用的なデメリット、新しい制度であることによる予測不可能性があり、多くの企業では様子見（オプトアウトを選択）しているようです。皆様に適宜この情報は提供していきたいと思います。

今年もよろしくお願いします。

☆今年の抱負（山内 章子）

昨年は念願叶って紅葉の綺麗なくじゅう連山を訪れることができました。一面のすすきに覆われた坊がつるは本当に美しかったです。

今年は樹氷を見に行くため、冬のくじゅう連山にチャレンジしようと思っています！メリノウールなどの暖かい冬の山登りウエアは機能に優れていて暖かく、普段の犬の散歩でも活躍し、まさに縁の下の力持ち。知的財産権も皆様の事業の縁の下の力持ちのような存在ですね。

今年はどんな年になるでしょうか。どうか世界中の人々が平和に暮らせますように。今年もよろしくお願いいたします。

３．　今年度の Yamauchi Patent News の予告

今年度も、春夏秋冬の４回に分けて、知財関連の実務情報を紹介したいと思います。

今年度は、企業の知財管理業務のうち日常的でないだけに、対応に苦慮することがある紛争解決につき、知財部OB目線による実戦的コメントをしたいと思います。

一応の予定は下記のとおりですが、多少の変更もありますので、ご了承下さい。

春号：当事者間交渉の使い方
夏号：当事者間交渉のコツ
秋号：調停の使い方
冬号：裁判をするなら

よろしくお願いいたします。

以上